

令和6年度内牧市民センター地域づくり推進会議協議結果

令和6年度地域づくり推進会議では、主に、市民センターのあり方や新たな機能について意見交換を行いました。

1 市民センターの新たな機能について寄せられた課題や意見

(1) 地域まちづくりの拠点（自治会活動の支援・地域コミュニティの活性化）

- 子どもたちが自分たちの郷土について話し合う場も必要
- 子どもたちが自主的に地域活動に参加できる仕組みづくりが必要
- 地域の人と交流できる場、機会を増やすことが必要
- 地域の魅力などを集約して情報発信を
- 健康づくりに関する取組も必要
- 困りごとなどの情報収集を
- 自治会未加入者への情報発信が必要

(2) 防災・防犯の拠点（地域での災害発生時の体制強化・防犯意識の向上）

- 子どもたちの参加を促す避難所開設等訓練の実施を
- 災害時の安心拠点となるような情報の発信を
- 防災、防犯などの情報取得ができる地域の啓発ステーションに
- 特殊詐欺・闇バイトの対策等については、子どもも自分事として捉えるよう実態を教えることが大切
- 防災訓練、防犯講座などへの自治会未加入者の参加が課題

(3) こどもの居場所づくり（学習スペース・施設の一部を遊び場として開放）

- こどもの遊び場については、空き室の提供だけになっているが、夏休みなど、長期休暇の時に子ども向けのイベントや相談事業の実施などが必要
- 集団行動が苦手な子どもたちも気がねなく利用できる場としてほしい

(4) 各種証明書発行の機能

- コンビニでは操作方法を教えてもらえないが、市民センターなら職員に聞きながら操作できることをPRすると良い

2 その他自由意見

- 内牧地区は交通の便が悪い
- 拠点となる市民センターに高齢者が行けるよう対策が必要